

課題番号 6

基本方針：Ⅱ		課題名：有機栽培等の非結球アブラナ科葉菜類における難防除害虫対策	
対象：J A S 有機生産者		計画期間：R 2～R 4	
		事務所名：東部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果（計画当初→R 3 年度末）	
①キスジノミハムシの防除技術の普及	実証圃の設置 巡回・調査 検討会の開催	防除技術の普及面積	52a → 57a
②ダイコンサルハムシの防除技術の確立	実証圃の設置 巡回・調査 検討会の開催	防除技術の普及面積	0a → 3a

総合評価（コメント）
<p>A：4名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■生産者を支える重要な活動であると感じます。</li> <li>■有効な活動であると思います。</li> <li>■今後ますます有機の栽培面積の拡大をお願いします。</li> <li>■化学肥料や農薬にたよらない安心・安全な有機野菜をお手頃な価格で利用したいと考えている消費者は多いです。 有機栽培に取り組む農業従事者を広げるためにも難防除害虫対策の普及活動を継続してほしい。</li> </ul> <p>B：2名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■どのような対策も、関係機関との連携と役割分担を図ることで活動の幅が広がると考える。今後の活動を考える上で、関係機関との関係性を考え取り組まれてはどうか。被害を受けた野菜の有効活用に向け、被害葉を取り除いた葉の加工等に向けた課題設定が検討できないか。</li> </ul>

普及指導計画への反映状況等
<ul style="list-style-type: none"> <li>■軟弱葉菜類の有機栽培で問題となるベト病の低減対策として、循環扇導入による防除技術の検証を対策項目に加えた。</li> <li>■さらに除草剤が使えないため、人手で行っている周辺除草作業の省力化を図るため、リモコン式ロボット草刈機を試験導入し効果検証を加えた。</li> <li>■これらの病虫害対策の効果と経済性をとりまとめマニュアル化を予定している。</li> </ul>